



内容

- 管内のできごと 2-4
- 令和5年度LA(ライフアドバイザー)紹介 ... 5-6
- お知らせ 7
- 第22回 通常総代会開催のご案内 8

JA福岡大城祭センター

おもひでホール大川齋場

☎0120-880-002 年中無休 24時間受付

事前相談・式場見学随時お受けします。
(受付時間 9:00~16:00)

農協だより / 2023年6月発行 Vol.111 発行：福岡大城農業協同組合 〒83010416 三潴郡大木町大字八町牟田330 TEL0944(32)1300 FAX(33)1662

第22回 通常総代会開催のご案内

日時：令和5年6月28日(水) 午後1時30分
場所：当JA本店2階大会議室(三潴郡大木町大字八町牟田330)
総代の皆さまにつきましては、総代会招集通知を送付しておりますので、議案など詳細をご確認の上、ご出席よろしくお願いたします。



初盆返し・お中元などの贈り物に
「美酢あまおう」はいかがですか？



3本セット 2,550円
2本セット 1,800円

商品の包装は「完全包装、簡易包装、包装無し」の中からお選びいただけます。

発送・ご自宅へのお届け時期

ご注文をいただいて10日間ほどで発送・ご自宅へお届けいたします。
(宅配の場合、別途に送料がかかります。)

お問合せ・申し込み先

JA福岡大城 営農経済部 直販課
TEL0944-32-1346
農産物直売所 くるん夢市場
TEL0944-75-2153

農繁期の営業のお知らせ

	6/18(日)	6/25(日)
大川営農センター	営業 (8:30~17:00)	営業 (8:30~17:00)
城島営農センター	営業 (8:30~17:00)	営業 (8:30~17:00)
大木営農センター	営業 (8:30~17:00)	営業 (8:30~17:00)
大川給油所	営業 (8:30~12:00)	休業
大木給油所	営業 (8:30~12:00)	休業
城島給油所	営業 (8:30~12:00)	休業
農機センター	営業 (8:30~17:00)	営業 (8:30~17:00)

※配達はいたしません。

クールビズ実施のお知らせ

地球温暖化の抑制、自然環境保全の観点から弱冷房化の取り組みと体感温度を下げ効率的に働くことのできる「夏の軽装」(クールビズ)を実施します。

実施期間

5月1日(月)~10月31日(火)

実施内容

ノーネクタイ・ノー上着



5月10日 「元気つくし」倒伏対策

元気つくし研究会は、栽培講習会を開催しました。生産者45名が参加し、高品質な「元気つくし」の栽培管理方法について確認しました。久留米普及指導センターは、収量・品質低下の主な要因の一つは倒伏であり、高品質・高収量に向けて風雨による影響・病害虫による葉鞘の強度劣化を説明し、倒伏防止対策として①健苗育成②栽植密度③肥培管理④水管理⑤病害虫防除を挙げ生産者へ周知しました。



5月10日 「大豆」収量向上に向けて



大豆の栽培講習会を開催し、生産者85名が参加しました。久留米普及指導センターは、大豆の収量向上に向けて適期播種の徹底等について説明しました。併せて、みどりの食料システム戦略実績報告を行いました。実証試験は管内の18経営体・155畝を対象とし、部分浅耕一工程播種と少量散布ノズルの検証を行い、作業性と燃料の評価では、部分浅耕一工程播種は慣行と比較して、燃料消費量は2.2L/10畝の削減、作業時間は0.56時間/10畝の削減となりました。また、収量の比較では9~28%の増収となり、慣行と比較して、一貫して水分が高い状態を保っており、乾燥害の抑制により大豆の小粒化を改善しました。少量散布ノズルの効果の検証では、10畝当たりの水補給回数は、慣行では19回、少量散布ノズルでは3回となり作業効率を大幅に改善しました。今後も、所得向上・作業の省力化に向け生産者へ情報提供し7月の播種に向け準備を行っていきます。

5月16日 青ねぎ部会県GAP認証を目指して

青ねぎ部会は、第34回通常総会を開催しました。青ねぎ部会員17名が出席し、全5議案が承認されました。令和4年度は、販売金額2億4千万円。販売金額と前年度対比伸長率上位者の実績を称え表彰しました。減農薬栽培・全量有機肥料の使用により消費者ニーズに合った青ねぎの生産に取り組んでおり、県GAP認証取得を目指します。



販売金額の部 第1位 乙丸 勝樹 さん(写真左)

5月19日 麦圃場巡回

小麦「シロガネコムギ」「ちくしW2号」の生育状況調査のため圃場を各地区に分かれて巡回を行いました。麦の成熟具合等の生育状況の確認を行い、収穫適期を調査しました。



4月11日 佐野顕彰祭



大木支店の前で「佐野顕彰祭」を行いました。佐野貞蔵氏は、明治時代の初期にくわで稲株を採掘して集め、稲株に残る害虫を焼却する方法等を考案しました。その生涯を農業の改善や発展に貢献し、1968年に農林大臣の顕彰状を附与されました。同祭は、佐野氏の苦難と後世に残した多くの軌跡を地元関係者が受け継ぐ為に、毎年JAと共同で顕彰を称えています。

4月11日 新「博多ぶなしめじ」パッケージ一新



しめじ部会は、第38回通常総会を開催し、部会員50名が出席しました。令和5年度は、大木きのこ種菌研究所等と共同で育種し、生産者とともに試験栽培、品種選抜した新品種への切り替え、パッケージの一新を行い、各関係機関一体となって、「博多ぶなしめじ」を盛り上げていきます。九州屈指の産地として令和4年度の共販出荷量は4,850ト(前年比99%)、共販販売高は14億3,000万円(前年比100%)となりました。

4月18日 いちじく春期管理対策

いちじく部会は、春期管理の対策を図るため栽培講習会を開催し、部会員等12名が参加しました。講習会では、新梢(しんしょう)管理として、不要な芽を除き、残る枝の生長を促進することで果実の葉擦れ傷や着色不良等のデメリットが無くなること等を説明しました。同部会は、部会員15名が作付面積1.6畝で栽培。安全・安心ないちじくを生産するため、今後も栽培管理に努めていきます。



5月2日 品質向上に向けて(寿限無部会)



寿限無(じゅげむ)生産部会は、第10回通常総会を行い、全4号議案が承認されました。寿限無は、「山田錦」と「夢一献」を掛けあわせて生まれた品種。背丈が低く倒伏しにくい特性があります。現在、蔵元5社が寿限無を用いて酒造りを行っています。部会では、高品質な米作りを行うため栽培講習会を行い、減農薬・減化学肥料栽培で酒米作りを行なっています。

5月9日 「つやおとめ」生産履歴記帳徹底による安全安心の提供

特別栽培米部会は、第18回通常総会と栽培講習会を開催し、全5議案が承認されました。令和4年産は、収量は、玄米重量単収418kg/10畝、等級は全量2等となりました。今年産は部会員19名で11.2畝を作付け予定です。安全安心な農産物生産により消費者や実需者との信頼確保のため、生産履歴記帳を徹底します。栽培講習会では「つやおとめ」の栽培にあたって「ふくおかエコ農産物認証制度」を受けるため化学農薬の成分及び散布回数、化学肥料由来の窒素量を県基準の半分以下になるよう、農薬や肥料の使用基準の徹底を周知しました。



令和5年度 LA(ライフアドバイザー)担当者の紹介

私たちが伺いたします！

支店が遠くなって、なかなか足を運ぶことができずに困っている！

JA共済や貯金、ローンなどどうしようか悩んでいる！

そんなお悩みを私たちが解決します！気軽にお声かけください。

大川支店 宮崎 省伍
大川・三又地区担当



組合員、地域の皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張ります。宜しくお願ひ致します。

大川支店 岡 正朗
川口・大野島地区担当



今年度から、新たに川口・大野島を担当させていただきます。前任者に負けない様に一生懸命頑張ります。

大川支店 山科 佑一
木室地区担当



一生懸命頑張ります。何でもお任せください。

大川支店 本村 直美
田口地区担当



4月より担当となりました。皆さんに覚えていただけるよう、またお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願ひ致します。

大木支店 大津 佐緒里
大溝・木佐木地区担当



お役に立てるよう努めますのでよろしくお願ひ致します。

大木支店 石田 俊樹
大溝・木佐木地区担当



1日も早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願ひ致します。

大木支店 鶴岡 政治郎
木佐木・大莞地区担当



初心を忘れることなく、頑張ります。

大木支店 松永 富士子
大莞地区担当



組合員の皆様と一緒に笑顔になれるよう努めます。よろしくお願ひ致します。

本店 石本 康
育成トレーナー



皆様のお役に立てる様に努めますのでよろしくお願ひ致します。

5月20日 第47回えのき部会通常総会

えのき部会は、総会を開催し全2議案を承認しました。令和4年度から始めたSNSを活用したPR活動では、Instagramで「博多きのこ」のアカウントを開設し、きのこを使ったレシピの公開等を行っています。また、地元タレントのユーチューブチャンネル「中島浩二チャンネル」「どうも小雪です。」において、PR動画が随時公開されています。引き続きSNSを利用したPR活動やイベントに積極的に参加し、部会の発展と有利販売に努めていきます。



総代会事前説明会



開催日時

5月24日 大川・城島・大木地区

総代会事前説明会を行い、全体で96名の方に出席頂きました。JA役職員より総代会提出議案の説明を行いました。

5月22-24日 共同育苗播種作業

当JAでは、生産者の農作業軽減を目的として、水稻の播種作業を行いました。今年度は、「ヒノヒカリ」「ツクシホマレ」「つやおとめ」合計で1万3,300箱。箱苗の受け渡しは6月17日から予定しています。高品質の苗を生産者へ提供出来るように、受け渡しまでの育苗管理を徹底します。



5月26日 麦荷受

管内の各カントリーエレベーターで、令和5年産小麦の荷受が始まりました。品種は「シロガネコムギ」「ちくしW2号」。初日は1,398トンを荷受けし、水分量平均は18.1%でした。JAの麦出荷者部会は、実需者に望まれる「JA福岡大城の麦」の生産に向け、講習会や実践活動を通じて技術や品質の向上に努めてきました。荷受け時の水分量は低く、収量は平年並みを見込んでいます。



4月27日 第21回女性部通常総会

女性部では、通常総会を3年ぶりに通常規模で開催し、女性部部員等123名が出席。全4議案について承認されました。令和5年度も前年同様、県女性協3ヶ年計画を目標に活動。また、JA女性部活動そのものであるSDGsの達成に貢献することにより持続可能な世界を実現し、メンバーや地域が「幸せ(Happy)」になる事を目指し活動します。



お知らせ

10月1日より「インボイス制度」が始まります

インボイスとは？

売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加されたものをいいます。

インボイス制度とは？

売手であるインボイス発行事業者は、買手である取引相手（課税事業者）から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません（また、交付したインボイスの写しを保存しておく必要があります）。買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手（売手）であるインボイス発行事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となります。

インボイス発行事業者とは？

税務署にインボイス登録申請を行い、納税地の所轄税務署から事業者登録番号の交付を受けた事業者のことをいいます。

課税事業者と免税事業者について

〈課税事業者と免税事業者とは〉

課税事業者 前々年の課税売上高^(※1)が1,000万円を超える事業者

免税事業者 前々年の課税売上高^(※2)が1,000万以下の事業者

※1 農業では主に農畜産物の販売高、作業受託料、使用していた農機などの売却代金が該当します。

※2 前々年の課税売上高が1,000万以下の事業者も、届出書の提出により課税事業者となることがあります。

JA販売委託する場合には「農協特例」適用があります

農産物の委託販売の場合も「売り手」（生産者）がインボイスを発行することが原則とされていますが、JAが行う委託販売事業は、一定の要件の下で、JAが発行する書類で「買い手」が仕入税額控除できる「農協特例」の適用を受けることが可能です。



「農協特例」の主な適用要件

- ①委託者が組合員
- ②無条件委託
- ③共同計算による精算

こちらでもご確認いただけます

インボイス制度に関するお問い合わせ先

国税庁ホームページ
インボイス制度特設サイト
インボイス制度のより詳しい情報やQ&A等を掲載しています。



インボイスコールセンター
【フリーダイヤル】 0120-205-553
【受付時間】 9:00~17:00 (土日祝除く)

JAばくばくキャンペーン
令和5年2月1日〇～7月31日〇

JAネットバンク新規ご契約や、アンケートご回答でうれしいプレゼント!!

JAネットバンク 新規ご契約でもれなく! JA自慢の加工品

キャンペーンサイトにてお申込み後、毎月10名様 賞品全額現金券プレゼント! (500円分)

アンケートご回答された方の中から抽選で!

キャッシュカードなどJAバンクの口座番号がわかるものをご用意ください。



JAネットバンクの登録新規申込はこちらから

残高・入出金明細照会

ご利用口座の残高・入出金明細が店舗・ATMに来店不要でご照会いただけます。

振込・振替

全国のJA本支店および他行の国内本支店への振込・振替が店舗・ATMに来店不要でご利用いただけます。

税金・各種料金の払込み

Pay-easy(ペイジー)マークのある請求書・納付書のお支払いができます。

定期預金

総合口座を対象とした定期貯金口座の開設、通帳式定期貯金(総合口座を含む)の預入等がご利用いただけます。*

ローン繰上返済

住宅ローン・マイカーローン・教育ローン等の案件明細照会、一部繰上返済予約等がご利用いただけます。

カードローン

約定返済型のカードローンを対象に、借入・返済や入出金明細照会・契約内容照会がご利用いただけます。*

カントリー荷受における臨時作業員募集について

【仕事内容】フォークリフト作業(フォークリフト運転技能講習必須)

受付作業・計量作業・夜間乾燥作業助手等、カントリーにおける麦等の荷受け作業の補助

【勤務期間】原則カントリーの麦等荷受期間(麦の荷受期間予定は、5月下旬から約10日間)

【勤務時間】荷受作業内容により異なりますので、勤務希望場所にご確認をお願いします。

問い合わせ及び勤務場所

大木カントリー	大木町大字上八院 1730	TEL. 0944-33-0415 (担当/田中)
城島カントリー	城島町江上本 75-1-3	TEL. 0942-62-3295 (担当/龍)
木室カントリー	大川市大字下木佐木 103	TEL. 0944-86-2422 (担当/龍)
川口カントリー	大川市大字一木 1038	TEL. 0944-87-6855 (担当/田中)

令和5年度 6次産業化推進事業費補助金の募集

久留米市では、久留米産農産物を活用し、農産物の生産から加工、販売までの一連の経済活動(6次産業化)に取り組む農業者等を応援します。

【支援内容】

「令和5年度6次産業化推進事業費補助金」

【補助対象者】

- ①市内に在住する農業者
- ②市内に在住する農業者で構成する任意団体
- ③市内に所在する農業団体

【募集期間】

4月10日(月)～5月31日(水)(土・日・祝日を除く)

【補助内容】

- ①商品開発支援(上限30万、1/2補助・2件程度)
～試作・開発にかかる経費(商品開発・備品購入等)
- ②販路拡大支援(上限30万円、1/2補助・2件程度)
～開発した商品の販路拡大にかかる経費(パッケージ開発・販促物作成等)
- ③商品改良支援(上限30万円、1/2補助・2件程度)
～商品の改良にかかる経費

お問い合わせ先

久留米市農政部農業の魅力促進課
TEL:0942-30-9165 FAX:0942-30-9717